

PFAS汚染



2021年、環境省の調査で**全国21か所**の河川や地下水から、安全とされる数値(※)を超える「**PFAS(ピーファス)**」が検出された。

(※)1リットル当たり50ナノグラム(2020年)

●「PFAS(ピーファス)」とは？

人体への影響が懸念されている炭素とフッ素が結合した「有機フッ素化合物」のこと。約**5000種**ある有機フッ素化合物のうち、特に毒性が強いとされる【**PFOSピーフォス**】と【**PFOAピーフォア**】は、「**残留性有機汚染物質に関わるストックホルム条約(2020年3月現在、181カ国及びEUなどが締結)**」の中で【**PFOSピーフォス・・・製造、使用、輸入を制限すべき物質**】【**PFOA・・・廃絶すべき物質**】に掲載された。国内では「**化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律**」で、**製造や使用、輸入などが禁止**されている。

また科学的安定度が高く、分解に850度以上の高熱を要し、いったん人体に取り込まれると長く蓄積するため「**永遠の化学物質フォーエバーケミカル**」と呼ばれ有害性が問題になっている。健康への悪影響として、腎臓がん、肝疾患、甲状腺疾患、高コレステロール血症、低出生体重、乳腺の発育不全などがある。(欧州環境庁EEAより)

●「PFAS(ピーファス)」どこから来たの？

もともと自然界に存在したものではなく、1940年代以降にアメリカで開発される。水を弾く性質があり、防水スプレー、フライパン、ファーストフード容器、じゅうたん、化粧品、泡消火剤などにも使われている。(別紙:永遠の化学物質「PFASピーファス」参照)

●国内の汚染状況は？

国内では**2002年代**に入り**多摩川**(東京都)や大阪空港周辺の**猪名川**(兵庫県・大阪府県境)で、**高濃度PFOS**が検出された。また、淀川流域(三重・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良にまたがる流域)では、**ダイキン工業淀川製作所**(大阪府摂津市)からの排水による**高濃度PFOA**が検出された。沖縄県では、2016年河川や地下水から**高濃度PFAS**が検出され、水源上流部に位置する**米軍嘉手納基地**から漏出したPFAS含有の泡消火剤による汚染とみている。2020年4月には、**米軍普天間基地**でのPFAS含有泡消火剤漏出事故、2020年6月には、沖縄県北部金武町でも汚染が発覚した。(別紙:国内PFAS検出の主地域参照)